

## 環境経営の推進

### 環境マネジメントの推進 「環境基本計画」を策定して活動を推進しています

当社グループは2008年に「環境方針」を制定し、2011年からは5か年の中期計画として「環境基本計画」を策定して、環境保全に取り組んでいます。

環境基本計画は、環境方針の柱である「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「自然と共生する社会の推進」の3テーマで構成し、環境管理会議において、毎年度、計画達成に向けた具体目標（アクションプラン）を立て、実績を評価しています。



新名神高速道路沿線の淀川では、ヨシの生育環境の保全に取り組んでいます

### 環境方針

西日本高速道路株式会社は、事業活動が環境に及ぼす影響を真摯に捉え、高速道路事業者としてまた社会の一員として、社員の一人ひとりが、環境の保全・改善に積極的に取り組み、持続可能な社会の形成をめざします。

取り組みの実施にあたっては、環境側面に関する法規制等を遵守し、環境目的・目標を定めるとともに、それらを定期的に見直すことで継続的に改善します。

(2008年制定、2011年一部改定)

### 低炭素社会の実現に取り組めます

未来を担う世代が生活の豊かさを実感できるよう、道路空間を活用した省エネルギー、創エネルギー及び緑化の推進に取り組めます。

### 循環型社会の形成に取り組めます

天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減するため、廃棄物等の発生抑制（リデュース）、循環資源の再使用（リユース）及び再生利用（リサイクル）に取り組めます。

### 自然と共生する社会の推進に取り組めます

人と生きものが豊かに暮らせる社会をめざし、自然環境や人々の生活環境の保全と創出に取り組めます。



名神高速道路 草津PAの急速充電システム



ほかの建設工事等で発生した土砂を受け入れ、利用しています



地域性苗木を用いた盛土のり面の樹林化

## 環境におけるSDGsへの貢献

環境基本計画に則した取り組みを通じて、SDGsに貢献することを目指しています。

環境関連のゴール	環境関連ターゲット →NEXCOの活動	環境関連のゴール	環境関連ターゲット →NEXCOの活動
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	全ての人が、安くて安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう 再生可能エネルギーの導入 →太陽光発電導入	12 つくる責任 つかう責任	持続可能な方法で生産し、消費する取り組みを進めていこう リサイクル・廃棄物抑制 →廃棄物の3R(廃棄物減量、アスファルト再資源化)
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させイノベーションを推進していこう 温室ガス抑制(CO <sub>2</sub> 排出抑制・省エネ) →電気使用量削減(オフィス・道路)	13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じよう 温室ガス抑制(CO <sub>2</sub> 排出抑制・省エネ) →電気使用量削減、盛土のり面樹林化
11 住み続けられるまちづくりを	安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現しよう 大気・廃棄物の削減 →廃棄物削減・再資源化	15 陸の豊かさも守ろう	陸上の生態系や森林の保護・回復と持続可能な利用を推進し、砂漠化と土地の劣化に対処し、生物多様性の損失を阻止しよう 気候変動対策・温室ガス抑制・生物多様性・森林経営 →エコロード推進(動物侵入柵設置、盛土のり面樹林化、地域性苗木導入)

## 中期計画「環境基本計画2020」に基づくアクションプラン2020の取り組み

SDGsに貢献する具体的な取り組みとして、2016年度から2020年度を対象に「環境基本計画2020」を策定、その計画に基づく年度目標「環境アクションプラン2020」を設定し、グループ一体となって、環境保全・改善を行いました。

※CSRの重要課題(マテリアリティ)として設定されている項目についてはP43-P44に記載。

実行目標計画の取り組み項目	活動内容	指標	単位	アクションプラン2020				
				目標	実績			
低炭素社会の実現	省エネルギーの推進	電気使用量の削減	オフィス活動に要する電気使用量を削減する	電気使用量	kWh/m <sup>2</sup>	2015年度実績より5%削減する(2015年度 153kWh/m <sup>2</sup> )	1.4%増加(155.1kWh/m <sup>2</sup> )	
		ガス使用量の削減	オフィス活動に要するガス使用量を抑制する	ガス使用量(都市ガス+LPGガス)	m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>	2015年度実績より抑制する(2015年度 0.4m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	15%削減(0.34m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	
	二酸化炭素吸収源対策	道路緑化等によるCO <sub>2</sub> の固定	盛土のり面等の樹林化整備を推進する	整備面積	ha	30ha	34ha	
循環型社会の形成	技術開発	新技術・新材料の開発	再生アスファルト混合物の適用性を検討する	—	—	回転式舗装試験機による耐久性評価試験及び実機プラントによる試験練りを実施し、耐久性に優れた再生アスファルト混合物の配合設計手法を検討する	回転式舗装試験機による耐久性評価試験及び室内試験により、再生アスファルト混合物の配合設計の手引きを作成した	
		環境に配慮した製品・資材等の調達	廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	一般廃棄物(資源となるものを除く)の排出量を減量する	—	kg	一般廃棄物の排出量を抑制し、分別回収に努める	一般廃棄物の排出量を抑制し、分別回収に努めた
			休憩施設での発生ゴミの再資源化を推進する(再資源可能なもの)	再資源化率	%	100%をめざす	100%	
			建設発生木材の再資源化を推進する	再資源化率	%	95%をめざす	96.9%	
自然と共生する社会の推進	自然環境の保全	エコロードの推進	動物侵入防止対策を推進する(建設)	設置延長	km	0.6km	0.6km	
			地域性苗木を設置する	設置本数	本	—	—	
	生活環境の保全	道路交通騒音対策	高機能舗装の敷設を推進する	敷設延長	車線・km	80車線・km	119車線・km	

## 中期計画「環境基本計画2025」の策定

政府方針による「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、これまでの環境保全に対する取り組みに加えて、「脱炭素社会の実現」に取り組んでまいります。